

# 日本教育工学会 FD 研修におけるオンラインワークショップの実施

Implement of Online Workshop in JSET Faculty Development Seminar

高橋 暁子\* 甲斐 晶子\*\* 根本 淳子\*\*\* 鈴木 克明\*\*  
Akiko Takahashi\* Akiko Kai\*\* Junko Nemoto\*\*\* Katsuaki Suzuki\*\*

徳島大学\* 熊本大学\*\* 明治学院大学\*\*\*  
Tokushima University Kumamoto University \*\* Meiji Gakuin University \*\*\*

<あらまし> 本研究では、2020年度日本教育工学会FD研修について報告する。完全オンライン化に伴い事前・事後課題を増やしてワークショップ部分の時間を短縮し、ファシリテーターを増員した。参加者による事後アンケートの結果、形式や内容について高い満足度を得られた。

<キーワード> 高等教育 FD インストラクショナルデザイン オンラインワークショップ

## 1. はじめに

日本教育工学会のFD研修は、2011年度から「大学授業デザインの方法ー1コマの授業からシラバスまでー」をテーマに開催してきた(松田ほか2017)。2014年度より反転授業形式で実施してきたが、今年度はCOVID-19の拡大に伴い、対面ワークショップ部分を中止せざるを得なかった。そこで、完全オンライン化に向けて研修設計を変更した。本稿では、変更内容と実施結果について報告し、今後の改善点について考察する。なお、実施結果に関しては本稿執筆段階で最終レポートの締め切りを迎えていないため、主として参加者アンケートによる満足度について述べる。

## 2. FD研修の設計

2019年度(反転授業形式)と2020年度(完全オンライン形式)とのFD研修の差異について、表1にまとめた。2020年度はワークショップ部分を同期型オンラインにするのに伴い、参加者の疲労感を軽減させるため相互作用性の高い活動に絞り1時間短縮した。具体的には、2019年度にワークショップ内で実施していた「ペアの相手探し」という活動を事前課題に、「研究キーワード探し」および「インストラクショナルデザインの前提に関するアンケートへの回答」という活動を事後課題へ移動した。その結果、ワークショップ部分のプログラムは表2に示す通りとなった。オンライン化への配慮として、はじめにアイスブレイク「今日のランチは？」を追加した。

また、議論を促すために参加者2名につき1名の割合でファシリテーターを配置した。ファシ

リテーターは、前年度までのファシリテーター研修を修了した「認定ファシリテーター」に依頼した。ファシリテーターには事前にオンラインワークショップでの役割に関する説明動画(10分程度)の視聴を依頼し、当日早めに集合して30分程度のミーティングを行った。また、ファシリテーター用のMoodleコースを用意した。コース上には表2の進行に合わせた留意点や使用資料を掲載し、トラブル時の連絡用チャットも配置した。

## 3. 実施結果

### 3.1. 参加者

2020年度のFD研修には、最終的に14名の大学教員(または大学院生)が参加した。例年と異なっただけでなく、ワークショップ当日のキャンセルがなかったこと、全員が事前課題を実施してワークショップに参加したことであった。事前課題の設定ミスを参加者から指摘され修正することがあったが、ワークショップ当日は大きなトラブルはなく、ほぼプログラム案(表2)通りに進行した。

### 3.2. アンケート結果

ワークショップ終了後、参加者アンケートを実施した。参加者14名中、13名が回答した。

事前学習と事後学習のそれぞれについては、「形式」と「内容」を5件法(5が大変良い)で聞いたところ、すべてにおいて5または4の回答が得られた。同様に、ワークショップ当日も「形式」と「内容」を尋ねたところ、「形式」は5または4の回答だったのに対し、「内容」は、5:大変良いが9名、4:やや良いが2名、3:どちらでもないが2名であった。また、ワークショップ

の「時間」に関して、5:大変良いが7名、4:やや良いが4名、3:どちらでもないが1名、2:やや悪いが1名であった。

「良かった点」の自由記述では、「**他の分野の先生方の授業方法等をお聞きし、自分の授業の改善につながる考えを聞くことができた**」といった例年と同様の意見が得られた一方で、「**移動の負担が少なかった**」というコメントが2件あった。

「改善点」の自由記述では、「**グループワークの時間をもう少し欲しかった**」という意見が2件あった。これは例年よくいただく意見であるが、オンラインの特性を考慮して、活動の指示をより短時間で明確に伝える工夫が必要だろう。

#### 4. おわりに

本稿では、日本教育工学会 FD 研修において

2020 年度に実施したオンラインワークショップについて報告した。内容や形式に関してアンケートで高い満足度を確認した。しかしながら、グループワークの時間に課題があり、オンラインにおけるインストラクションをより洗練させる必要性が示唆された。たとえば全体指示を最小限にして、詳細な指示はファシリテーターにゆだねる（ファシリテーターに指示用のスライドを渡す）といった改善を検討したい。また、今後は事後課題の提出状況や提出内容を確認し、例年と同等の学習効果があることを確認したい。

#### 参考文献

松田岳士, 根本淳子, 鈴木克明(編著)(2017) 大学授業改善とインストラクショナルデザイン, ミネルヴァ書房

表1 2019年度と2020年度のFD研修(下線部は変更点)

	2019年度(反転授業形式)	2020年度(完全オンライン形式)
事前課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙のワークブックを郵送</li> <li>Moodle を使用し3つの課題を実施</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業分析(ワークシートの作成)</li> <li>2. インストラクショナルデザインの前提に関するアンケートへの回答</li> <li>3. 動画視聴と小テスト受験</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙のワークブックを郵送</li> <li>Moodle を使用し<u>4つ</u>の課題を実施</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業分析(ワークシートの作成)</li> <li>2. <u>ワークショップのペア相手探し</u></li> <li>3. インストラクショナルデザインの前提に関するアンケートへの回答</li> <li>4. 動画視聴と小テスト受験</li> </ol>
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面で実施</li> <li>13:00~18:00(5時間)</li> <li>参加者4名につき1名の割合でファシリテーターを配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>同期型オンライン(Zoom)</u>で実施</li> <li><u>13:00~17:00(4時間)</u></li> <li>参加者<u>2名</u>につき1名の割合でファシリテーターを配置</li> </ul>
事後課題(任意)	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle を使用し1つの課題を実施</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最終レポートの提出</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Moodle を使用し<u>3つ</u>の課題を実施</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>研究キーワード探し</u></li> <li>2. <u>インストラクショナルデザインの前提に関するアンケートへの回答</u></li> <li>3. 最終レポートの提出</li> </ol>

表2 2020年度のワークショップ部分のプログラム(下線部は2020年度に追加した活動)

時間	内容
13:00-13:15(15分)	【はじめに】 主催者挨拶, 趣旨説明, <u>アイスブレイク</u>
13:15-13:50(35分)	【導入ワーク1】 IDの前提に賛成できますか?
13:50-14:00(10分)	【導入ワーク2】 事前ワークの相互紹介
14:00-14:10(10分)	【ペアリング】 課題解決を共に考えるペア同士の自己紹介
14:10-14:20(10分)	休憩
14:20-15:00(40分)	【ペアセッション1】 授業設計の出入口・評価について考える
15:00-15:30(30分)	【ペアセッション2】 授業設計の方法について考える
15:30-15:45(15分)	【個人リフレクション】 自分とペアの授業改善案のまとめ
15:45-15:55(10分)	休憩
15:55-16:45(50分)	【グループワーク】 自分とペアの授業改善案を報告する
16:45-16:55(10分)	【おわりに】 主催者挨拶, アンケート